



2022年2月18日

各位

会社名 Oakキャピタル株式会社
代表者名 代表取締役社長 稲葉 秀二
(コード: 3113 東証第二部)
問合せ先 執行役員 IR・PR 室長 小玉 誠一
(TEL. 03-5412-7474)

「開発型ビジネス」に関するお知らせ

当社は昨年11月に新経営方針を策定し、3つの事業領域（「狩猟型ビジネス」「農耕型ビジネス」「開発型ビジネス」）において事業を推進しております。

このうちの1つである「開発型ビジネス」は、当社自体が、中長期的な観点で事業会社の株式を保有し、連結子会社若しくは関連会社として価値を共に創り出していくことで、その事業の成長支援を当社本体が行うビジネスマネジメント業務です。

この「開発型ビジネス」につきましては、その第一弾として、昨年12月15日付「当社と株式会社ユニヴァ・ペイキャストとの株式交換に関する基本合意書締結のお知らせ」にて公表しております通り、キャッシュレス決済ビジネスを展開するフィンテック企業である株式会社ユニヴァ・ペイキャストを株式交換により完全子会社化する準備を進めておりますが、これに加えて、現在以下のような案件について検討を進めております。これらの案件につきましては、今後具体化する中で順次その状況をお知らせいたします。

案件内容、対象会社の概要	対象会社の 売上規模等	今後の予定
美容製品の企画製造販売会社の買収及び同社のIPO支援	50~60億円 (黒字計上)	連結子会社化
海外市場においてIPOを準備中の健康食品の企画製造販売会社への資本参加 (Pre-IPOでの資本参加)	80~100億円 (黒字計上)	持分法適用関連会社化
免疫細胞の再生医療系ベンチャー企業への資本参加 及び同社の経営支援・IPO支援	1~3億円 (黒字計上)	持分法適用関連会社化
売上規模200億円超の飲食業界のリーダー企業と共に 飲食業界の再生支援事業を手掛ける合弁会社を設立	—	持分法適用関連会社化

【中期経営計画の策定について】

当社は、現在2023年3月期を初年度とする3年にわたる中期経営計画を策定中で、2022年6月に公表する予定で準備を進めております。

本中期経営計画につきましては、上記の「開発型ビジネス」に加えて、中核連結子会社であるスターリング証券株式会社及び株式会社ノースエナジーの事業計画も織り込み、来期（2023年3月期）のグループ連結利益の黒字化並びに新生Oakキャピタルのグループ経営目標である「25（連結売上高250億円）、2（連結純利益20億円）、60（時価総額600億円）」の早期達成に向けて注力してまいります。

以上